

令和5年度 学校評価（あきた型）シート
「秋田西高等学校」

①

評価領域	総務部
------	-----

目標の設定（Plan）

② 重点目標	適切な文書処理・行事予定の調整を行い、教育活動および各校務分掌が円滑に運営されるよう努める。
③ 現 状	教育活動の充実に向けて各分掌との連携を進めている。
④ 具体的な目標	適切な文書管理を通じて、校務の円滑化を図る。
⑤ 目標達成のための方策	校務について I C T を活用しながら各分掌との共通理解を図り、教育活動が円滑に進むよう業務を遂行する。

実践（Do）

⑥ 具体的な取組状況	I C T を活用して校務を遂行し、分掌間の情報共有を円滑化した。
⑦ 達成状況	目標を達成できている。

自己評価（Check）

評価基準	A：具体的な活動が示され目標を達成できた。 B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない。 C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない。
------	---

⑧ 自己評価	評価	根 拠
	A	各担当者がそれぞれ分掌間の情報共有を適切に行った。

⑨ 学校関係者評価と意見	評価	意 見
	A	I C T を活用することで、各担当者間で必要な情報化が図られ、校務の円滑化が図られていることは、大変素晴らしい。学校の情報は、ホームページや配布物などで知ることはできるが、具体的な P T A 活動についてもっと発信できたら良いと思う。

改善した実践（Action）

⑩ 自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	校務の円滑化をさらに進めるために校務支援システムを適切に活用する。ホームページ等の情報発信については、月ごとの定期更新に加えて行事ごとの更新頻度を増やせるよう関係分掌と連携を深める。
-------------------------	---